

城西支部長就任ごあいさつ



城西支部長 園田愛一郎

平成 30 年 6 月 15 日の一般社団法人東京都中小企業診断士協会（以下東京協会）の第 7 回定時総会において城西支部長に任命されました。これまでは総務部長、副支部長として支部の運営に携わってまいりました。また、これまで 21 年間企業内診断士でしたが、立場にとらわれずにさまざまな経験をさせていただきましたので、それらを総合的に生かし、支部長としての支部運営にあたる所存です。

さて、東京協会が新体制に移行し城西支会が城西支部となって以来 6 年になります。この間、城西支部は支部活性化委員会を創設するなど一貫して活力ある支部づくりに取り組んできました。特に昨年度は支部の 3 大課題であった「城西支部ブランドの確立(支部の特徴が失われている)」、「専門性豊かな独立診断士の育成(ベテラン診断士の引退増)」、「独立志向を持たない企業内診断士の活躍(会員の 7 割を占める)」に一定の方向性を出し、今年度はそれを具体的な施策として実行する重要な年度と位置付けています。東京協会の目標である「中小企業診断士の社会的地位の向上/知名度向上および職域の拡大」を踏まえながらも、今年度は城西支部としての新しい姿を打ち出し、支部の存在感を高めて、来年の支部創立 60 周年に向けての確固たる基盤を創るための活動を展開します。

具体的には、新たに「Front-Runner JOSAI」という支部のブランドスローガンを設定しました。これは、過去 4 区診断士会や JCG の創設など常に他支部に先駆けた活動を行ってきた伝統を引き継ぎ、今も先駆的活動を行なう城西支部の位置づけを象徴するものです。ブランド浸透のためにはホームページ刷新や新しい支部ロゴの開発などの外部に発信する施策も重要ですが、やはり内部活動の充実による支部価値の向上がブランドそのものになり、支部会員の増加や満足度向上につながります。そのため、このスローガンのもと、別ページの平成 30 年度基本方針ある 5 つの重点施策を展開してまいります。

なかでも「事業機会の拡大」では、東京協会が展開する収益事業開発を主導的に推進するとともに、支部関連団体として地域密着型の支援を行う 4 区診断士会と広域型で事業展開する JCG との連携、および行政・支援機関・金融機関等の皆様のご協力により城西独自の収益事業のあり方を追求してまいります。また、「専門性豊かな独立診断士の育成」と「企業内診断士の活躍の場の提供」では、会員研鑽内容の充実と様々な会員交流機会の提供により、経験豊富な独立診断士と最新の業界知識をもつ企業内診断士との知の融合を図り、城西支部価値の向上を図りたいと思います。

今年度は支部運営体制が刷新されました。会員の皆様も部会や研究会、あるいは支部主催イベントに積極的に参加され、全会員が一体となった支部運営を目指したいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。